

平成 年 月 日

日本学術会議
会長 大西 隆 殿

(学術研究団体名)
(代表者名)

印

平成30年度共同主催国際会議申請書

下記の国際会議が日本で開催されることが決定しましたので、貴会議が同国際会議を（学術研究団体名）と共同して開催されるよう申請します。

記

平成30年に共同主催を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文： 英文：
開 催 時 期	
開 催 場 所	
主 催 団 体	日本学術会議（希望）
後 援 等 団 体	※多い場合は主要なもののみ記載。
母 体 団 体	和文： 英文：
参加予定者数等	国外 人 国内 人 計 人 [カ国・地域]
会 議 使 用 言 語	
会 議 概 要 (会議の意義・目的や日本開催の経緯等について簡潔に記載。)	

開催経費の財源 [募 金 団 体]	<table border="0"> <tr> <td>参 加 費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>助 成 金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>寄 付 金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>千円</td> </tr> </table>	参 加 費	千円	助 成 金	千円	寄 付 金	千円	その他	千円	計	千円						
参 加 費	千円																
助 成 金	千円																
寄 付 金	千円																
その他	千円																
計	千円																
連 絡 先 (氏名・所属・肩書・住所・電話番号等)	氏名： (所属・肩書) 住所： 電話番号： E-mail:																
提 出 資 料 (申請時に作成が可能な資料がある場合は、チェックして下さい。様式任意。)	<table border="0"> <tr> <td>☐</td> <td>会議内容(会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載)</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>日程表(表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載)</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>会議プロシーディングス(印刷及び配布方法を明記)</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>著名な国外・国内参加者(氏名、所属、受賞歴等)</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>組織委員会の構成等(発足年月日、学術研究団体との関係等)</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>会議の収支予算書</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>その他の資料 ()</td> </tr> </table>	☐	会議内容(会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載)	☐	日程表(表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載)	☐	会議プロシーディングス(印刷及び配布方法を明記)	☐	著名な国外・国内参加者(氏名、所属、受賞歴等)	☐	組織委員会の構成等(発足年月日、学術研究団体との関係等)	☐	会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料	☐	会議の収支予算書	☐	その他の資料 ()
☐	会議内容(会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載)																
☐	日程表(表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載)																
☐	会議プロシーディングス(印刷及び配布方法を明記)																
☐	著名な国外・国内参加者(氏名、所属、受賞歴等)																
☐	組織委員会の構成等(発足年月日、学術研究団体との関係等)																
☐	会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料																
☐	会議の収支予算書																
☐	その他の資料 ()																

※現時点で未定の場合は、未定である旨記載してください。

※提出資料欄でチェックした資料については、審査の過程で提出をお願いする場合があります。

平成 年 月 日

日本学術会議
会長 大西 隆 殿

(学術研究団体名)
(代表者名)

印

平成30年度共同主催国際会議申請書

下記の国際会議が日本で開催されることが決定しましたので、貴会議が同国際会議を（学術研究団体名）と共同して開催されるよう申請します。

記

平成30年に共同主催を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文： 第■回国際○○○学会議 英文： THE Xth International Conference ○○○（略称：ICO）
開 催 時 期	平成××年××月××日 ～××月××日（×日間）
開 催 場 所	○○県○○市（国立○○会館、○○○○○ホテル）
主 催 団 体	○○法人日本○○学会、日本学術会議（希望）
後 援 等 団 体	（協賛）日本○○機構（予定） 等 （後援）○○省、○○県、○○市、△△学会、□□研究所 等 ※多い場合は主要なもののみ記載。
母 体 団 体	和文： 国際○○○学会 英文： International Society of ○○○（略称：ISO）
参加予定者数等	国外 ○人 国内 ○人 計 ○人 [○ カ国・地域]
会 議 使 用 言 語	英語（同時通訳：有 開会式のみ）
会 議 概 要 （会議の意義・目的や日本開催の経緯等について簡潔に記載。）	第■回国際○○○学会議は、国際○○○学会が▲年ごとに開催する国際会議であり、19××年の第1回から当会議で■回を迎える、○○○学分野で最も歴史のある国際会議である。 日本での開催は、第◆回以来、○年振り、○回目の開催となる。 ○○○学は、□□の基礎要素である△△の中核を成し、○○の少数多体系である○○を研究する学問である。近年は、高温・高密度状態の○○物質や○○における○○合成過程の研究が著しい発展を遂げている。 ○○○学は、……における日本の研究水準を高め、世界における……に対して多大な貢献をしており、今後の……について大きく期待されている。 この度の第■回国際○○○学会議では、「21世紀における……の新潮流」をメインテーマに、○○を越える○○、○○の○○力学、○○構造、○○中での○○の性質の応用等を主要題目として、研究発表と討論が行われることとなっている。 この会議を日本で開催することは、我が国で……中の○○を全世界の研究者に大きくアピールし、多くの研究者の参画を促す絶好の機会となり、我が国の○○○学に関する研究を一層発展させる契機となる。

